

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 浜名中 ) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・2期目にあたり、学校の課題や生徒・保護者のニーズに沿った活動をしていく。
- ・協議会の進め方について、各部会での検討結果を運営協議会として共有、確認した上で展開していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校長より丁寧な説明と思いを聞くことができ、方針について理解するとともに、生徒・教員・保護者・地域との関わり合いの大切さを共有できた。
- ・本年度の柱の一つであるキャリア教育について詳しく説明があり、それをもとに委員全員で熟議することができた。
- ・「いじめ対策」についても担当職員から詳細に説明があり、浜名中の実態について意見交換することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・地域との関わり方の一つとしてボランティア活動を推進し、地域とのつながりを深め、生徒たちが地域で輝くことができる場を整えるために、協議会としてできることや職場体験の場の確保など、具体的な話し合いを進めることができた。
- ・「知・徳・体」に基づく、学校支援と地域貢献の取組内容を具体的に熟議し、次の支援活動につなげることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・生徒の活躍や学校行事に関しての発信は活発に行われているが、協議会での協議内容や結果についての発信は、まだ足りないように感じる。また、情報発信がどの程度認知されているのかの状況把握は今後の課題である。
- ・他の会合の折に機会を捉え、浜名中が今何を考え、どのように地域と関わりを持とうとしているのかを発信しようとしたが、まだまだ不十分であった。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校からの要望に応じた学校支援活動（避難訓練、防災アドバイス、進路面接練習会、生徒会リーダー交流会等）を継続していく。
- ・地域との関わりを大切にしながら、「学校から地域への貢献」「地域から学校への貢献」の相互を共有していく。
- ・生徒の「職場体験」への協力、受入れ先確保に向けて、一層地域企業に対して声掛けをしていく。